

LINN

日本語



KISTO System Controller
オーナーズマニュアル

安全上のご注意

本マニュアルおよび製品に付されたマークについて



危険な電圧が存在することを警告するものです。感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。

感電の危険あり。開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. **説明を読む**：本製品を使用する前に、安全注意事項と操作の説明を熟読してください。
2. **説明書を保管する**：いつでも参照できるように、安全注意事項や操作説明が掲載されている文書を保管してください。
3. **警告に従う**：製品と操作説明に記載されたすべての警告事項に注意し、従ってください。
4. **指示に従う**：必ず使用や操作に関する指示を守ってください。
5. **水と湿気**：本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. **カートとスタンド**：製造者が推奨するカートとスタンドのみを使用してください。
- 6a. 機器とカートの組合せについては十分な配慮が必要です。急停止、過度な力、平らでない床などにより、機器を搭載したカートが倒れる場合があります。
7. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
8. **換気通風**：適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をベッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
9. **熱器具**：本機は、ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他アンプも含めて、熱を発するものから離して設置してください。
10. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
11. **アースと分極化**：安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
12. **電源コードの安全**：電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかたりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
13. **保護機能付きプラグ**：オーバーロード保護機能を組み込んだ付属プラグが用意されています。プラグのリセットと交換については説明書を参照してください。プラグ交換が必要になったら、もとのプラグと同じオーバーロード保護機能を有するものを使用してください。
14. **クリーニング**：必ず製造者の指示に従ってクリーニングを行ってください。
15. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
16. **屋外アンテナの接地**：チューナー/レシーバーに屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。
17. **雷が鳴り出した場合**：雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
18. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
19. **サービスが必要になる場合**：次のような場合は、専門技術者による修理調整が必要です。
 - a) 電源コードやプラグが破損したとき
 - b) 製品内部に異物や液体が入ったとき
 - c) 製品が雨に濡れたとき
 - d) 製品が正常に作動しないとき、また作動に明らかな異状が見られるとき
 - e) 製品を高いところから落としたとき、キャビネットに破損が生じたとき
20. **サービス**：操作説明書に記載されたことを超えて機器をご自分で修理しようとしないでください。専門技術者にお任せください。

警告

本機器はアースする必要があります。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	1998	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注 記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2003 Linn Products Ltd. 2003年5月初版

Linn Products Limited, Floors Road, Waterfoot, Glasgow, G76 OEP, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

本書掲載の商標：Linn (リン) および Linn のロゴは、Linn Products Limited の登録商標です。
KISTO、UNIDISK、KNEKT、KLIMAX、LIMBIK は Linn Products Limited の商標です。

「DTS」「DTS-ES」「Neo:6」「DTS 96/24」は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。「Dolby」「Pro Logic」「double-D」のマークは、いずれも Dolby Laboratories の商標です。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

目次

はじめに	2	設 置	8
音声フォーマット	2	開 梱	8
クリーニング	2	電圧の選択とヒューズ交換	8
フロントパネルとハンドセット	3	位置を決める	8
フロントパネルのディスプレイ	3	RAKK-KISTO 取付けキットの使用	8
フロントパネルの端子	3	接 続	9
フロントパネルのキー	4	コントロール、SCART	10
リモコン	4	映像の入力/出力	10
操 作	5	音声の入力/出力	11
ヘルプについて	5	フロントパネルの端子	12
入力ソースの選択	5	KISTO を Linn UNIDISK プレイヤーに接続する	12
入力ソースの分岐	5	KISTO の設定	13
サウンドの調節	6	セットアップモード	13
音 量	6	インストーラー設定の手順	14
バランス	6	その他のプロファイルの構成	14
音量トリム	6	既存プロファイルのコピー	14
Lip Sync 遅延	6	デフォルト入力設定	15
サラウンドサウンドのフォーマット	6	入力ソース概要	16
ドルビーヘッドフォン	7	技術データ	17
深夜映画モード	7	保証とサービス	18
もとのオーディオ設定に戻す	7		
レコーディング機能	7		
設定の変更	7		

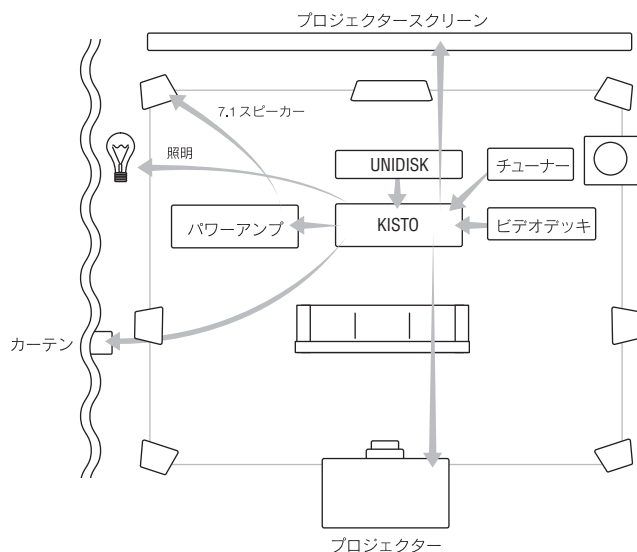
はじめに

KISTO™ キスト・システムコントローラは、リン社の次世代型音声・映像コントロール製品として、ホームエンタテインメントシステムの新しい中心を形成するものです。

多くのAVプロセッサ製品や「パススルー」方式とは異なり、KISTOは純粋なシステムコントローラです。単純明快なインターフェイスを通してホームエンタテインメントシステムの各要素を自在にコントロールすることができます。この先進的な製品は幅広い種類の音声・映像規格に対応し、高い評価を得ている弊社KLIMAXシリーズのアンプに匹敵するレベルで7.1チャンネル音声を提供します。

真の意味でのモジュラー方式、3シャーシ設計のKISTOは、リン社史上最も複雑なエンジニアリング製品のひとつといえます。本機は回路基板11、個々のコンポーネント6000以上をもち、現在ご使用になっているAVシステムに対応する100以上の端子を備えています。しかし、複雑な技術に価値があるのは、使い易いパッケージで高いパフォーマンスを実現する場合に限られると私たちは信じています。そのためKISTOシステムコントローラには、パワフルな新型ユーザーインターフェイスに加え、設定と操作を容易にわかりやすく、楽しくするためのオンスクリーンヘルプが採用されました。(日本語未対応) お使いになる方は、ほんとうに大切なこと、つまり音楽と映像に集中していただけるはずです。

KISTOはご使用のシステムの核となり、音声・映像製品、部屋の環境とリンによるコントロールとパフォーマンスがシームレスに統合されます。AVシステムへのアクセスはよりシンプルに、鑑賞する楽しみはより大きく広がると信じるものです。



音声フォーマット

KISTOには次のサラウンドサウンドアルゴリズムが組み込まれています。



Dolby Pro Logic II



Dolby Headphone



Dolby Digital EX



DTS 96/24, DTS-ES, DTS Neo:6

リン独自のLIMBIKアルゴリズムに、これらが追加されています。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

フロントパネルとリモコン

フロントパネルのディスプレイ

フロントパネルのディスプレイには、その時点における映像と音声に関する情報が表示されます。現在の入力ソースが上部に、その下に音量、下部には入力音声信号と処理が出来ます。



またセットアップメニューと、その時点の作動内容により他の情報も表示されます。

フロントパネルの端子

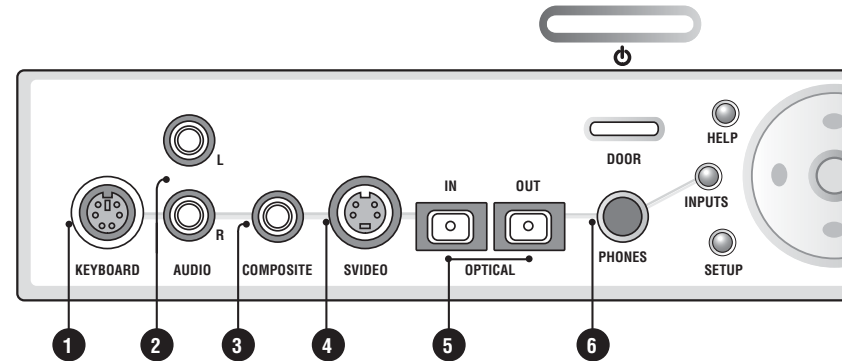
KISTOのフロントパネルの端子には、ビデオカメラやゲームコンソールなどのAV機器を接続することができます。

フロントパネルのキーと端子にアクセスするには

- 所定位置にロックするまでフロントパネルドアを上げます。

閉じるときは

- DOOR (ドア) を押します。1秒後に自動的に閉まります。



- 1 **KEYBOARD** (キーボード) PS2 キーボード接続
- 2 **AUDIO L and R** アナログステレオ入力
- 3 **COMPOSITE** コンポジット映像入力
- 4 **S VIDEO** S映像入力
- 5 **OPTICAL IN/OUT** デジタルオプティカル音声入力&出力
- 6 **PHONES** ヘッドフォン用ソケット

入力ソースを接続したら、新しい入力ソースを使用する前に、KISTOを適切に構成する必要があります。いったん入力ソースをセットアップしたら、次からセットアップは不要になります。

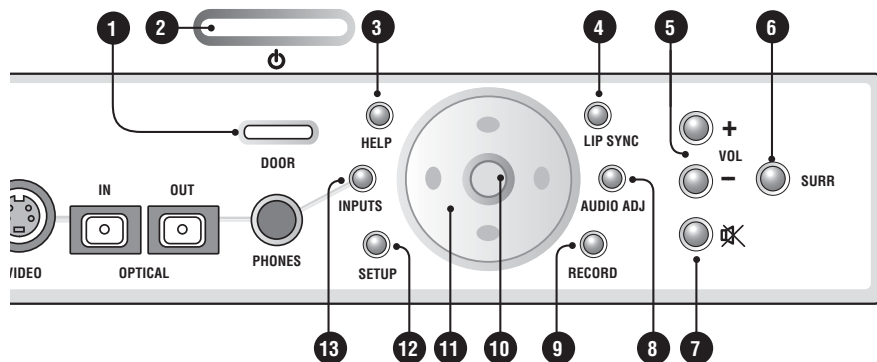
入力ソースコンポーネントの追加

- フロントパネルまたはリモコンの**SETUP (設定)**を押します。
- 「Source Setup」を選択します。
- 「Add Source」を選びます。
- セットアップ内容を設定します。
- セットアップを保存し、セットアップ画面を終了します。

入力ソースのセットアップについてのオンスクリーンヘルプは、フロントパネルかリモコンの**HELP**を押してアクセスします。

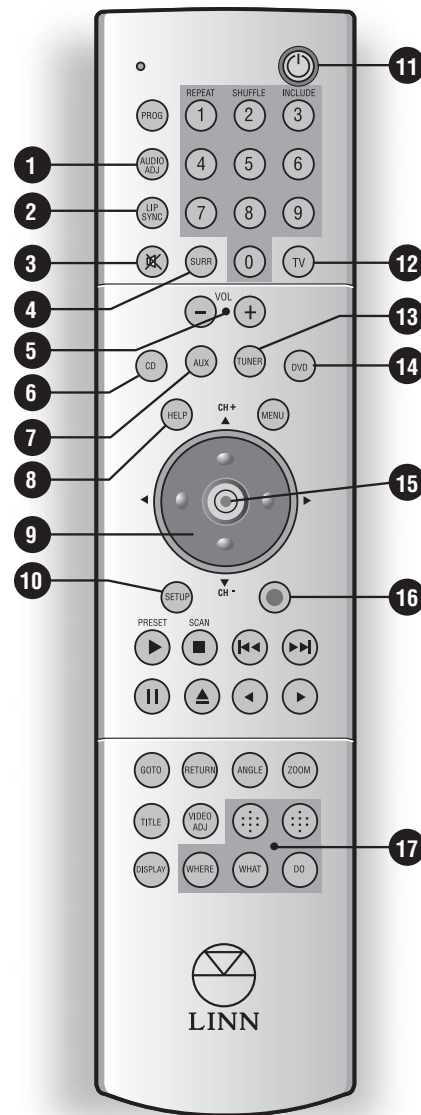
セットアップについて詳しくは、「KISTOの設定」を参照してください。

フロントパネルのキー



- 1 **DOOR** フロントパネルのドアを閉じます。
- 2 **⏻ (standby) (待機)** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます。
- 3 **HELP** オンスクリーンヘルプにアクセスします。
- 4 **LIP SYNC (synchronization) (同期化)** 音声/映像の同期化を調整します。
- 5 **VOL +/-** 音量を調節します。
- 6 **SURR (surround)** サラウンドサウンドフォーマットを選択します。
- 7 **🔇 (mute)** 音声をミュート (消音)/ミュート解除します。
- 8 **AUDIO ADJ (adjust)** スピーカーバランスとトリムを調整します。
- 9 **RECORD** レコードパスを設定します。
- 10 **[enter]** コマンドを実行します。
- 11 **⬆️ ⬇️ ⬅️ ⬇️** セットアップメニューの項目を選び、設定を調整します。
- 12 **SETUP** セットアップメニューを表示/非表示します。
- 13 **INPUTS** 入力を選択します。

リモコン



- 1 **AUDIO ADJ (adjust)** スピーカーバランスとトリムを調整します。
- 2 **LIP SYNC (synchronization)** 音声/映像の同期化を調整します。
- 3 **🔇 (mute)** 音声をミュート (消音)/ミュート解除を切り替えます。
- 4 **SURR (surround)** サラウンドサウンドフォーマットを選択します。
- 5 **VOL +/-** 音量を調整します。
- 6 **CD** CD入力ソースを選択します。
- 7 **AUX** 他機器からの入力ソースを選択します。
- 8 **HELP** オンスクリーンヘルプにアクセスします。(日本語未対応)
- 9 **⬆️ ⬇️ ⬅️ ⬇️ / CH +, CH -** セットアップメニューの項目を選び、セッティングを調整します。
- 10 **SETUP** セットアップメニューの表示/非表示を切り替えます。
- 11 **⏻ (standby) (待機)** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます。
- 12 **TV** リモコンをTVモードにします。
- 13 **TUNER** チューナー入力ソースを選択します。
- 14 **DVD** DVD入力ソースを選択します。
- 15 **[enter]** コマンドを実行します。
- 16 **📄 (record) (録音)** レコードパスを設定します。
- 17 **KNEKT functions** 本機をKNEKTシステム内で使用するときに使います。

他のキーはKISTOシステムコントローラには使われません。

注記:

KISTOがリモコンキーでうまく操作できない場合、リモコンがTVモードになっている可能性があります。リモコンの入力ソースキーのいずれか(DVD/CD/TUNER/AUX)を押してください。

操作

ヘルプについて

KISTOの操作説明をさらに便利にご利用いただけるよう、製品自体に解説を組み込みました。フロントパネルやリモコンの**HELP**を押すと情報にアクセスできます。表示される情報は、直前に使われたキーに関連したものです。たとえば**LIP SYNC**キーを押した後4秒以内に**HELP**を押せば、Lip Sync遅延についての情報が出ます。ヘルプ情報はご使用のディスプレイ機器に表示され、KISTOがオンになっていればいつでもアクセスできます。(日本語未対応)

総合的な操作説明がKISTOにヘルプ情報として内蔵されていることから、本マニュアルには最小限の解説のみが掲載されています。

入力ソースの選択

利用したい入力ソースを選択する

- フロントパネルかリモコンの **▲/▼** キーを使います。
- または
- リモコンの該当する入力ソースタイプキー (DVD/CD/TUNER/AUX) を押し、**▲/▼** キーでそのタイプの入力ソース項目を選びます。

入力ソースの音声と映像を別設定

ひとつの入力ソースを分けて、現在のものとは別のオーディオ/ビデオ機器を設定することができます。たとえば、ある入力ソースの映像を見ながら音声だけは別の入力ソースを聴きたい場合などに役立ちます。

入力ソースを別設定する

- 別設定しようとする入力ソースをフロントパネルのディスプレイに表示させ、フロントパネルかリモコンの **▲** または **▼** を押します。

矢印 **◆** が入力ソース名の左側に出ます。(その入力ソースを選択していれば **◆** がすでに表示されているはずです。)

- **▶** を押します。

その入力ソースの音声機器と映像機器名が並べて表示されます。

- 音声機器と映像機器名のあいだを **▶** で移動します。
- **▲/▼** キーを使って音声入力ソースまたは映像入力ソースを変更します。

分岐させた入力ソースをもとに戻す

- **▲/▼** キーで別の入力ソースに移動し、以前の入力ソースに戻します。

注記：

頻繁にお使いになる一定のコンビネーションがある場合は、その組み合わせをひとつの入力ソース構成としてセットアップメニューで設定するほうが良い場合もあります〔KISTOの設定〕を参照。

サウンドの調節

音量

音量を調節する

- フロントパネルかリモコンの **VOL -/VOL +** を押します。

音量は0.5刻みに0～100の範囲で選択できます。

バランス

全スピーカーのバランスを調整する (サブウーファーを除く)

- フロントキーかリモコンの **AUDIO ADJ** を押します。

画面またはフロントパネルのディスプレイに「Balance」と表示されます。

- バランスを右へ動かすには **▶** を繰り返し押し (あるいは押し続け)、左へ動かすには **◀** を使います。

バランス範囲は、左へ25段階、右へ25段階です。0がニュートラルとなります。

音量トリム

DVDを見たりDVDオーディオを聞いたりする際に、他のスピーカーに影響を与えずに、センター、サラウンド、リアなどのスピーカー音量を微調整したい場合があります。これはスピーカー音量トリムを調整して行います。

音量トリムの調節

- フロントパネルまたはリモコンの **AUDIO ADJ** (adjust) を繰り返し押し、画面またはフロントパネルのディスプレイに調節したいスピーカーを表示させます。
- フロントパネルかリモコンの **▲/▼** を繰り返し押し (または押し続けて)、音量トリムのレベルを増減します。

音量トリム範囲は-12.5～12.5 (0.5刻み) です。ニュートラルは0です。

注記:

AUDIO ADJ を押したときに表示されるスピーカーは、使用しているスピーカー数とその時点で選択されているサラウンドサウンドフォーマットによって異なります。

Lip Sync 遅延

DVDによって、俳優の口の動きと音声合わない場合があります。KISTOのLip Sync遅延機能でこれを修正することができます。

口の動きを同期させる

- フロントパネルかリモコンの **LIP SYNC** を押します。
- フロントパネルかリモコンの **▲** を押して、映像と音声合うまで音声信号を遅らせます。

Lip Sync遅延の範囲は、10ミリ秒刻みで、0～250ミリ秒です。

注記:

Lip Sync遅延のセッティングはその入力ソースにのみ保持されます。

サラウンドサウンドのフォーマット

オーディオ/ホームシネマの強化を目的に、KISTOは幅広いサラウンドサウンドフォーマットを備えています。サラウンドサウンドフォーマットについての解説は、フロントパネルかリモコンの **SURR** を押し、さらに **HELP** を押しをご覧ください。

サラウンドサウンドのフォーマットを変更する

- フロントパネルまたはリモコンの **SURR** (サラウンド) を繰り返し押し、画面またはフロントパネルのディスプレイに変更したいフォーマットを表示させます。

注記:

使用できるサラウンドサウンドフォーマットは、処理される信号の種類によって決まります。

現時点の音声信号に対するサラウンドサウンドフォーマットのデフォルト設定は、画面またはフロントパネルのディスプレイに星印付きで示されます。

ドルビーヘッドフォン

KISTOはドルビーヘッドフォン再生機能を備えています。この信号処理アルゴリズムは、従来のヘッドフォンでは音が「頭の中で鳴る」のに対し、音を自然な空間の広がりの中で聞かせます。ドルビーヘッドフォンはいかなるステレオやマルチチャンネルの音声信号にも対応し、3種のバーチャル空間でのアコースティックを再現します。

ドルビーヘッドフォンを使う

- ヘッドフォンをフロントパネルのPHONESソケットに差し込みます。

KISTOが自動的にヘッドフォンを検出し、スピーカーの音を消します。

ドルビーヘッドフォンのオプションを変更する

- ヘッドフォンを差し込んだままで、フロントパネルリモコンの**SURR**を続けて押し、画面またはフロントパネルのディスプレイに必要なオプションを表示します。

ドルビーヘッドフォンについての詳細は、**SURR**を押してから、**HELP**を押してご覧ください。

深夜映画モード

いずれかの入力ソースの音声信号を圧縮する機能です。DVDの爆発シーンなどで瞬間的に音量レベルが上がったとき、音声信号を圧縮し音量を下げます。

深夜映画モードのオン/オフ切り替え

- フロントパネルリモコンの**SURR**を押し続けます。

オンになっていると、フロントパネルディスプレイの音量レベルの隣に「Midnight Movie」と表示が出ます。

もとの音声設定に戻す

上記のようなオーディオの設定をニュートラル/デフォルトに戻すには

- **AUDIO ADJ**を押し続けて画面またはフロントパネルのディスプレイに「Normalizing (通常モード化)」と表示を出します。

レコーディング機能

レコーディング機能により、入力ソース信号をテープデッキやDATレコーダーなどの録音機器に送ることができます。

注記：

著作権保護のため、オーディオ、ビデオのディスクによっては、録音を妨げるプロテクションシステムが組み込まれていることがあります。

レコードパスをセットする

- フロントパネルリモコンの**RECORD (録音)**を押します。
- **▲/▼** キーでレコーディングしたい入力ソースを選び、「**enter (入力)**」を押します。
- レコーディングにしたいオプションを **▲/▼** キーで選択し、「**enter (入力)**」を押します。

レコーディング機能についての詳細は、**RECORD**を押してから、**HELP**を押してご覧ください。

設定の変更

セットアップメニューを介してKISTOの多くの機能を調整することができます。これを行うにはフロントパネルリモコンの**SETUP**を押します。KISTOのセットアップを容易にするために、フロントパネルにPS2 (PC) キーボードをつなぐことも可能です。セットアップ作業中、ほとんどの項目に対して、**HELP**を押してオンスクリーンのヘルプ情報を見ることができます。(日本語未対応)

セットアップについて、詳しくは「KISTOの設定」をご覧ください。

設置

リンのKISTOシステムコントローラは、これまでに弊社が製作してきた製品の中でも最も複雑なものといえます。設計にあたって私たちは常にユーザーのニーズを念頭に置き、製品の複雑さにもかかわらず、設置、セットアップ、操作を可能な限りシンプルにすることに努めました。

本章には、ユーザーのニーズにしたがってKISTOを設置・構成する方法が解説されています。単純明快な手順だと感じていただければ幸いです。

開梱

KISTOシステムコントローラの箱には次のものが同梱されています。

- リモコン
- リモコン用R03 (AAA) 電池2個
- 電源コード
- 接地アダプター
- RS232 ケーブル
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、箱や梱包材は保管しておいてください。

電圧の選択とヒューズ交換

電圧は自動選択です。本機にはユーザーが交換できるヒューズは内蔵されていません。

警告：電源につなぐ際、KISTOシステムコントローラは必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設置場所を決める

KISTOはどんな場所にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- リモコンからの信号を受ける赤外線センサーは高感度です。誤作動を避けるために、本機は直射日光が当たらないところに置いてください。リモコンの赤外線ビームは磨りガラスも通りますので、たとえばキャビネット内に設置し曇りガラス越しの操作も可能です。

- 本機の上部と側面の換気孔を塞がないでください。
- ラジエーターやパワーアンプなど、熱を発生するものから離して設置してください。特にKISTOをラックに載せる場合、パワーアンプより下に置いて、アンプから上がる熱気に当てないようにします。通気のため上下に1U (44mm) のスペースをとってください。最適な冷却のためには、ファン付きの換気機器やエアコンをラック中に取付けることも有効です。

注記：

KISTOを長時間使用したり、換気が不十分だったりすると、内蔵ファンが作動し、内部温度が所定のレベルに下がるまで回転し続けます。

RAKK-KISTO ラックマウント取付けキットの使用

KISTOのラック搭載用に、RAKK-KISTO取付けキットが用意されています。本機のシャーシ側面に合う2つのラックマウント・アダプターにより、4つのM6クリアランス孔で標準19インチラックに取付けられるようになっています。ユニットの高さは3U (132mm) です。

KISTOのカバーは、2つのカットアウトを通してRAKK-KISTOを取付けられるよう、前後リバーシブルの構造となっています。出荷時の状態は通常の棚やキャビネットに設置する仕様となっています。

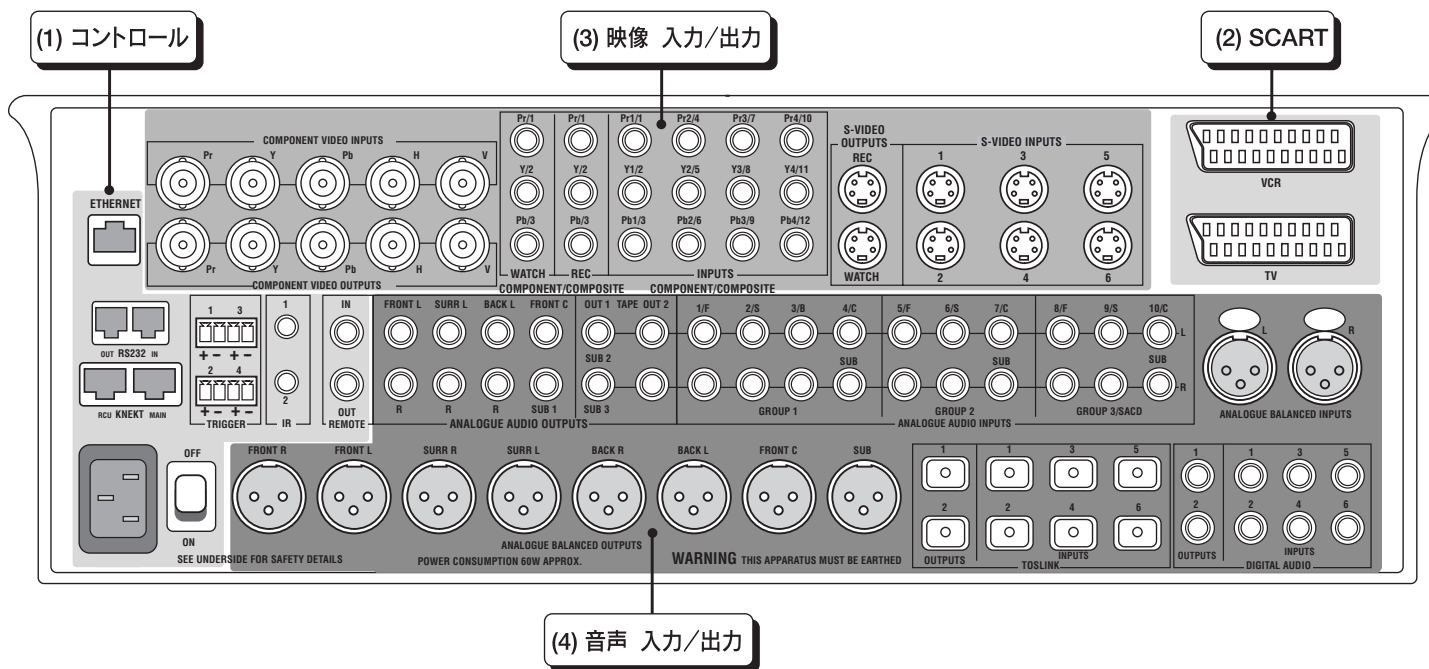
RAKK-KISTOをKISTOに取付けるときは、下のように行ってください。必要な道具は、TORX® T-10ドライバーとM4アレンキーだけです。

1. キズのつかないようにしてKISTOを天地逆に置きます。
2. カバー下部の4本のTorx固定ねじをはずします。
3. シャーシからカバーを後方に向かって丁寧にスライドさせて離します。
4. カバーを前後逆にしてカットアウトのある側(後方)が前方にくるように、シャーシに取付けます。
5. 4本の固定ねじを、カバー下側のもとの場所に取付けます。
6. RAKK-KISTOのハンドルをカバーのカットアウトに入れてシャーシに合わせ、3本のM4 x 12六角レンチ(キットに付属)で固定します。

これでKISTOはラックに取付けられます。

ご使用の取付けラックがショックや振動の影響を受けやすいようなら、追加的なサポートとしてKISTOの下に棚を取付けることもできます。これにより、力学的なひずみはRAKK-KISTOとKISTOシャーシの間の固定部分でなく、棚によって吸収されることになります。

接続

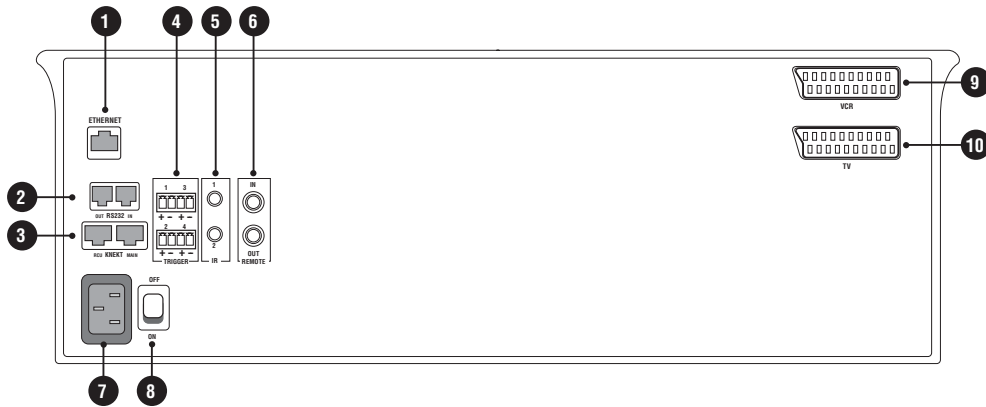


KISTOの背面パネルの端子は上図の通りです。端子は機能によりグループ分けされ、名称がついています。端子のグループと接続機能は、図のような4セクションに分かれて、マニュアルに列挙されています。



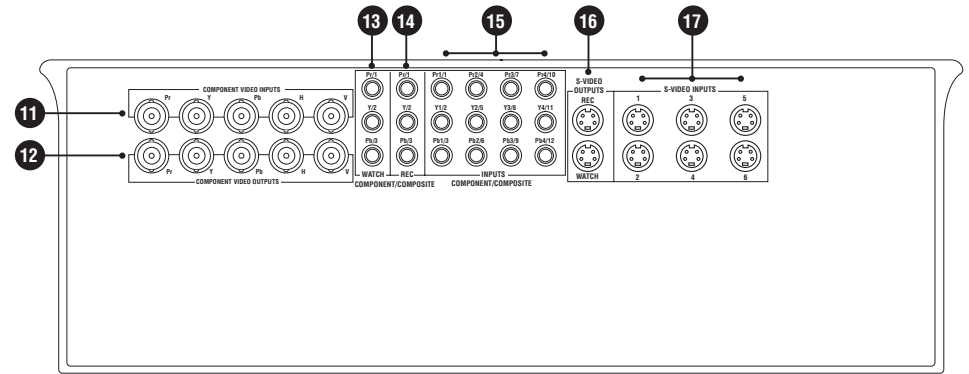
背面パネル端子の配線は、KISTOシステムコントローラの主電源スイッチを切ってから行ってください。これは電圧サージが発生して本機や他のAV機器に損傷を与えるのを防止するためです。

1 コントロール 2 SCART



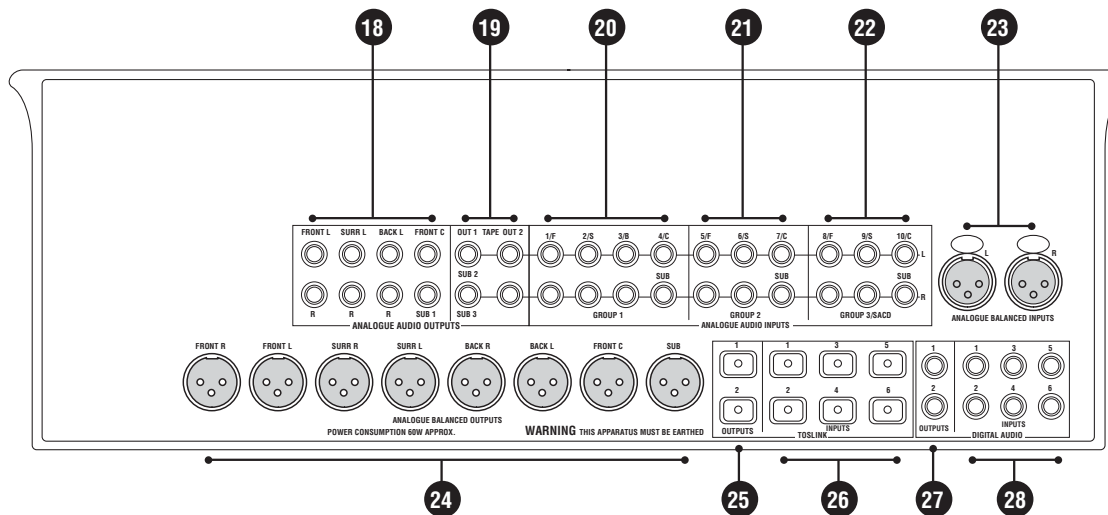
端子グループ名 (端子表示)	接続機能	端子タイプ
① ETHERNET	KISTOをコンピュータから制御	RJ45
② RS232 (OUT, IN)	KISTOに他機器をコントロールさせる、または他機器からKISTOをコントロールする	Twin RJ12
③ KNEKT (RCU, MAIN)	KNEKTシステムにKISTOをインストールする	Twin RJ45
④ TRIGGER (1, 2, 3, 4)	+12V切替コントロール出力	2 x Phoenix
⑤ IR (1, 2)	赤外線信号を受信する他機器のコントロール用	2 x 3.5 mm
⑥ REMOTE (IN, OUT)	KNEKTシステム内におけるRC5 in/outローカルループ	2 x RCA
⑦ 名称・表示なし	電源入力	IEC
⑧ (OFF, ON)	主電源スイッチ	Rocker
⑨ VCR	テープデッキからの入力、あるいはテープデッキへの出力に使用可	SCART
⑩ TV	TVへの出力、テープデッキへの出力にも使用可	SCART

3 映像の入力/出力



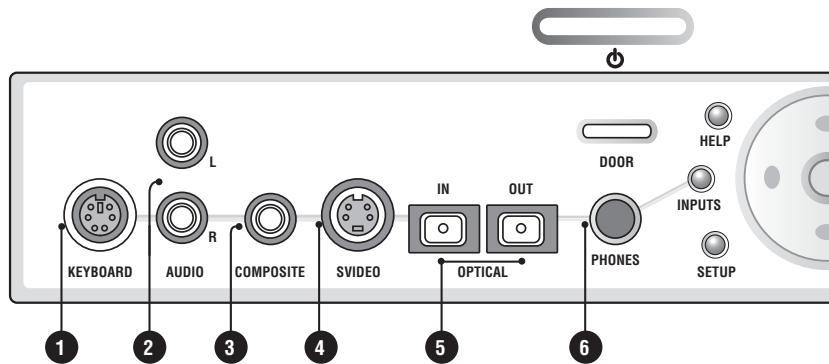
端子グループ名 (端子表示)	接続機能	端子タイプ
⑪ COMPONENT VIDEO INPUTS (YPrPb, H + V)	コンポーネント RGB/YPrPb + H & V Sync 入力	5 x BNC
⑫ COMPONENT VIDEO OUTPUTS (YPrPb, H + V)	コンポーネント RGB/YPrPb + H & V Sync 再生出力	5 x BNC
⑬ WATCH COMPONENT/COMPOSITE (Pr/1, Y/2, Pb/3)	コンジットまたはコンポーネント映像再生出力	3 x RCA
⑭ REC COMPONENT/COMPOSITE (Pr/1, Y/2, Pb/3)	コンジットまたはコンポーネント映像録画出力	3 x RCA
⑮ INPUTS COMPONENT/COMPOSITE (Pr1/1, Y1/2, Pb1/3; Pr2/4, Y2/5, Pb2/7; Pr3/4, Y3/8, Pb3/9; Pb2/7; Pr4/10, Y4/11, Pb4/12)	コンジット12またはRGBコンポーネント4 入力	12 x RCA
⑯ S-VIDEO OUTPUTS (REC, WATCH)	S映像録画および再生出力	2 x 4W mini-DIN
⑰ S-VIDEO INPUTS (1, 2, 3, 4, 5, 6)	S映像入力	6 x 4W mini-DIN

4 音声の入力/出力



端子グループ名 (端子表示)	接続機能	端子タイプ
18 ANALOGUE AUDIO OUTPUTS (FRONT L-R; SURROUND L-R; BACK L-R; FRONT C, SUB 1)	7.1 アナログ音声出力 1。5.1ch 再生時：リアースピーカー用出力は SURROUND L-R。7.1ch 再生時：追加分リアースピーカー用出力は BACK L-R	8 x RCA
19 ANALOGUE AUDIO OUTPUTS (TAPE OUT 1 L [SUB 2], R [SUB 3]; TAPE OUT 2 L-R)	アナログテープレコーダー L-R 出力 2 (TAPE OUT 1 端子不使用の場合はアナログサブウーファアの SUB 2 および SUB 3 への出力)	4 x RCA
20 ANALOGUE AUDIO INPUTS, GROUP 1 (1F L-R, 2S L-R, 3B L-R, 4C L-R [SUB])	アナログ音声 L-R 入力 4 または 7.1 アナログ音声入力 1。5.1ch 再生時：リアースピーカー用出力は SURROUND L-R。7.1ch 再生時：追加分リアースピーカー用出力は BACK L-R	8 x RCA
21 ANALOGUE AUDIO INPUTS, GROUP 2 (5F L-R, 6S L-R, 7C L-R [SUB])	アナログ L-R 音声入力 3 または 5.1 アナログ音声入力 1	6 x RCA
22 ANALOGUE AUDIO INPUTS, GROUP 3/SACD (8F L-R, 9S L-R, 10C L [SUB], R)	5.1 アナログ SACD 音声入力 1	6 x RCA
23 ANALOGUE BALANCED INPUTS (L, R)	アナログ L-R 音声バランス入力 1	2 x XLR
24 ANALOGUE BALANCED OUTPUTS (FRONT L-R; SURROUND L-R; BACK L-R; FRONT C, SUB C)	7.1 アナログ音声バランス出力	8 x XLR
25 TOSLINK, OUTPUTS (1, 2)	SPDIF オプティカルデジタル音声出力 2	2 x Toslink
26 TOSLINK, INPUTS (1, 2, 3, 4, 5, 6)	SPDIF オプティカルデジタル音声入力 6	6 x Toslink
27 DIGITAL AUDIO, OUTPUTS (1, 2)	SPDIF デジタル音声出力 2	2 x RCA
28 DIGITAL AUDIO, INPUTS (1, 2, 3, 4, 5, 6)	SPDIF デジタル音声入力 6	6 x RCA

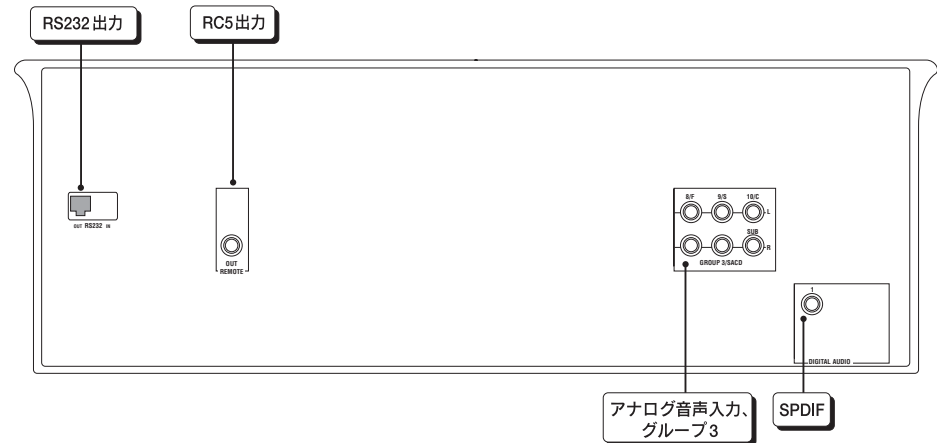
フロントパネルの端子



端子グループ名 (端子表示)	接続機能	端子タイプ
① KEYBOARD	キーボードを用いたセットアップ用	1 x PS2 DIN
② AUDIO L & R	アナログステレオ入力	2 x RCA
③ COMPOSITE	コンポジット映像入力	1 x RCA
④ S VIDEO	S映像入力	1 x 4W mini-DIN
⑤ OPTICAL IN/OUT	デジタルオプティカル音声入力&出力	2 x Toslink
⑥ PHONES	ヘッドフォンへの出力	1 x 6.5mm jack

KISTO を Linn UNIDISK プレイヤーに接続する

UNIDISK プレイヤーの対応する端子に KISTO を接続する場合は、下の図のように行います。



正しく接続すると同時に、UNIDISKと組み合わせて使えるよう KISTO を適切に構成する必要があります (すなわち UNIDISK と接続するのにどのような接続方法がとられたかを KISTO が知っていないてはなりません)。そのため KISTO のセットアップメニュー中にこれを行うためのメニューが用意されています。

KISTOの設定


セットアップを容易にするため、KISTOにはデフォルト(工場出荷時の設定)の入力ソース設定がされています。本マニュアル裏表紙のデフォルトの入力セッティングチャートにしたがってお使いのシステムの各コンポーネントを接続してください。その時各入力ソースに使用した端子の内容を必ず記録しておいてください。

重要事項:

映像信号は必ずそのまま(フォーマット変更なしに)本機を通過するため、入力パス(ルート)と出力パスが合致している必要があります。

例:

映像入力端子へ入る YPrPb  映像出力端子から YPrPb として出力

すべての接続が完了したら、KISTOのスイッチを入れます。フロントパネルのディスプレイで約40秒間「Loading Operating System」が点滅します。画面に「KISTO System Controller」と出たら、フロントパネルかリモコンの  キーを押します。

次にセットアップ画面を表示します。コンポーネントのセットアップに必要な情報はすべてフロントパネルに表示されますが、TV/ディスプレイ上でセットアップ画面を見ながらKISTOを構成するほうがより便利でしょう。(KISTOのオンスクリーンヘルプはお使いの、TV/ディスプレイに表示されますが、フロントパネルには出ません。)

KISTOの映像出力信号のデフォルト設定にはYPrPbが使われています。お使いのTV/ディスプレイがYPrPb信号を受付けない場合は、「Watch」を変更して、KISTOのDefault Modeセッティングを該当する設定に変えてください。

変更の方法:

1. フロントパネルかリモコンの **SETUP** を押し続けて、MAIN MENU (メインメニュー) 画面からINSTALLER MENU (インストーラーメニュー) 画面に移動します。
2. 必要なら言語の設定を変更します。
3. Edit User Profile (ユーザープロフィール編集) メニューに入ります。
4. Video Options (ビデオオプション) メニューに入ります。
5. Default Mode (デフォルトモード) アイテムから必要な設定に「Watch」を変更します。

セットアップモード

KISTOには2つのセットアップモードがあります。

1) General Setup (一般設定)

新しい入力ソースの追加、既入力ソースの削除、既存の入力ソースやスピーカーの設定変更、KISTOの一般設定の構成などを行います。「installer only」のアイテムは、General Setup中ではアクセスできません(下記参照)。



General Setupにおいて行われた設定変更は、インストーラーによる設定に戻すことができます。

セットアップ項目のいずれかについて情報を参照するには、フロントパネルかリモコンの **HELP** を押してください。

General Setup (一般設定) 画面に入る

- フロントパネルまたはリモコンの **SETUP** を押します。

メニューを選び設定を変更する

- フロントパネルかリモコンの  キーで、メニュー項目のあいだを移動します。
- **[enter]** を押して、メニュー項目を選択します。
-  キーでメニュー項目の設定を変更します。
- **[enter]** を押して新しい設定を選択します。

2) Installer Setup (インストーラー設定)

インストーラー設定では、最高4種類の異なる構成でKISTOを設定することができます(本機を異なる場所で利用するとき便利です)。これらの構成のことを「プロファイル」と呼びます。各プロファイル内で、スピーカー、入力ソース、AVパフォーマンス、KISTOの一般設定を行うことができます。既存のプロファイルとよく似たプロファイルを構成したいときには、既存のものをコピーすると簡単です。プロファイルには、本マニュアル背表紙にあるようにデフォルト入力設定がされています。

ここには、General Setupにはない、多くの「installer only (インストーラーのみ)」のメニュー項目があります。これらは上級のセッティングなので、いったん設定したら変更はほとんど必要ないはずです。

このモードでなされた変更は簡単にはもとに戻せないで、インストーラーの方でない限り、インストーラー設定のご使用はお奨めできません。

Installer Setup (インストーラー設定) 画面に入る

- フロントパネルかリモコンの **SETUP** を押し続けると、MAIN MENU 画面が **INSTALLER MENU** 画面に変わります。

メニューを選び設定を変更する

- フロントパネルかリモコンの **▲/▼** キーで、メニュー項目のあいだを移動します。
- **[enter]** を押して、メニュー項目を選択します。
- **▲/▼** キーでメニュー項目の設定を変更します。
- **[enter]** を押して新しい設定を選択します。

Installer Setup (インストーラー設定) の手順

セットアップのどの段階においても、**HELP** を押せば、オンスクリーンヘルプ (日本語未対応) を参照することができます。

1. Installer Setup (インストーラー設定) 画面に入ります (上記を参照)。
2. セットアップメニューを表示する言語を選択します。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語から選ぶことができます。
3. 長さの単位 (フィートまたはメートル) を選びます。
4. 構成しようとするプロファイルを選び、**[enter]** を押します。

Main Menu (メインメニュー) 画面が出ます。

5. 必要に応じて Profile Name (プロファイル名) を変更します。
6. Speaker Setup (スピーカー設定) 画面に入ります。適切なスピーカー設定を行います。
7. Source Setup (入力ソース設定) 画面に入ります。追加した各入力ソースを構成します。不要な入力ソース構成を除去します*。
8. Source Overview (入力ソース概要) は入力ソース設定完了後に参照します。各入力ソースの設定が表示され、KISTO が各入力ソースに対してどのように構成されたかをすばやく閲覧することができます。
9. Audio Options (音声オプション)、Video Options (映像オプション)、General Setup (一般設定) の画面に入り、設定を調整します。

これでプロファイルの構成が完了します。最後にプロファイル内の設定をユーザープロファイルに移します。KISTO の通常作動においてこのセッティングが使われます。

10. Installer Menu (インストーラーメニュー) 画面で、「Copy Profile」(プロファイルをコピー) にカーソルを合わせ、**[enter]** を押します。
11. 「Copy Profile」項目でいま構成したプロファイルを選び、**[enter]** を押します。
12. 「To Profile」項目で、User を選び、**[enter]** を押します。
13. カーソルを「Overwrite Target Profile」(ターゲットプロファイルを上書き) にあわせて、**[enter]** を押します。
14. Setup を終了します。

その他のプロファイルの構成

KISTO を二か所以上で使用する場合、別のプロファイル構成が役立つかもしれません。

方法

- 上記「Installer Setup (インストーラー設定) の手順」のステップ9までを実施します。

既存プロファイルのコピー

既存のプロファイルと同様の新プロファイルを構成しようとする場合、既存プロファイルをコピーすることができます。

方法

1. Installer Menu (インストーラーメニュー) 画面で、「Copy Profile」(プロファイルをコピー) にカーソルを合わせて **[enter]** を押します。
2. コピーしたいプロファイルの番号を選び、**[enter]** を押します。
3. 「To Profile」項目でコピー先のプロファイルを選び、**[enter]** を押します。
4. 「Overwrite Target Profile」(ターゲットプロファイルを上書き) にカーソルを合わせて **[enter]** を押します。

*少数の入力ソースをセットアップするだけなら、入力ソースを追加する前に、既存の入力ソースデフォルトをすべて除去すると簡単です。SOURCE SETUP (入力ソース設定) メニュー画面に、「Remove All Sources」(全入力ソース除去) 機能があります。

デフォルト入力設定

KISTO システムコントローラのためのデフォルト (工場出荷時の設定) の入力ソース設定は以下の通りです。

名称	CD (IN7)
タイプ	CD
音声入力	analog7
映像入力	...

名称	CD (DIG2)
タイプ	CD
音声入力	spdif2
映像入力	...

名称	TUNER (IN6)
タイプ	Tuner
音声入力	analog6
映像入力	...

名称	PHONO (IN5)
タイプ	Phono1/Laser
音声入力	analog5
映像入力	...

名称	BALANCED
タイプ	CD
音声入力	analogBal
映像入力	...

名称	SACD (GROUP3)
タイプ	DVD
音声入力	analogGroup3
映像入力	...

名称	DVD (DIG1 RGB1)
タイプ	DVD
音声入力	spdif1
映像入力	rgbGroup1

名称	DAB (TOS2)
タイプ	Tuner
音声入力	tos2
映像入力	...

名称	VCR (IN2 CVBS2)
タイプ	Tape2/VCR
音声入力	analog2
映像入力	composite2

名称	VCR (SCART)
タイプ	Tape2/VCR
音声入力	analogScart
映像入力	compositeScart

名称	TAPE (IN1)
タイプ	Tape1
音声入力	analog1
映像入力	...

名称	SAT (IN3)
タイプ	Satellite
音声入力	analog3
映像入力	composite3

名称	SAT (TOS3)
タイプ	Satellite
音声入力	tos3
映像入力	composite3

名称	CABLE (IN4)
タイプ	Cable
音声入力	analog4
映像入力	composite4

名称	CABLE (TOS4)
タイプ	Cable
音声入力	tos4
映像入力	composite4

名称	GAME (TOS1 CVBS1)
タイプ	AUX
音声入力	tos1
映像入力	composite1

名称	MINIDISC (TOS5)
タイプ	MD
音声入力	tos5
映像入力	...

名称	FRONT DIG & CVBS
タイプ	Front
音声入力	tosAux (FRONT DIG & SVID)
映像入力	compositeAux

名称	FRONT ANG & CVBS
タイプ	Front
音声入力	analogAux (FRONT ANG & SVID)
映像入力	compositeAux

名称	FRONT DIG & SVID
タイプ	Front
音声入力	tosAux (FRONT DIG & CVBS)
映像入力	svidAux

名称	FRONT ANG & SVID
タイプ	Front
音声入力	analogAux (FRONT ANG & CVBS)
映像入力	svidAux

名称	FRONT DIG
タイプ	Front
音声入力	tosAux (FRONT DIG & CVBS)
映像入力	...

入力ソース概要

このページは、KISTO システムコントローラのための
入力ソース入力設定の記録にご利用ください。

プロフィール名:

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

名称	
タイプ	
音声入力	
映像入力	

技術データ

電気系	
電源	100-230 VAC @ 50-60 Hz
外形	
重量	7.5 kg
寸法	381 (W) x 384 (D) x 140 (H) mm

信号インターフェイス : 入力 音声				
デジタル				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
SPDIF	6 x RCA	500 mVp-p	75 Ω	電気 オプティカル オプティカル
SPDIF	6 x TOSLINK			
SPDIF	1 x TOSLINK (フロントパネル)			
アナログ				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
アンバランス	20 x RCA	2 Vrms	10k Ω	Pin 1 gnd, pin 2 hot, pin 3 cold
アンバランス	2 x RCA (フロントパネル)	4 Vrms	7.8k Ω	
バランス	2 x female XLR			
映像				
アナログ				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
RGB + コンポジット + S-video	2 x SCART	1 Vp-p	75 Ω	標準 TV + VCR インターフェイス
コンポーネント	5 x BNC	1 Vp-p	75 Ω	
コンポジット/ コンポーネント	12 x RCA / 4 x RCA	1 Vp-p	75 Ω	
S-video	6 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	
コンポジット	1 x RCA (フロントパネル)	1 Vp-p	75 Ω	
S-video	1 x 4 pin mini-DIN (フロントパネル)	1 Vp-p	75 Ω	

信号インターフェイス : 出力 音声				
デジタル				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
SPDIF	2 x RCA	500 mVp-p	75 Ω	電気 オプティカル オプティカル
SPDIF	2 x TOSLINK			
SPDIF	1 x TOSLINK (フロントパネル)			
アナログ				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
バランス	8 x XLR		660 Ω	Pin 1 gnd, pin 2 hot, pin 3 cold
アンバランス	8 x RCA		330 Ω	Pin 1 gnd, pin 2 hot, pin 3 cold
アンバランス	2 x RCA		330 Ω	Pin 1 gnd, pin 2 hot, pin 3 cold
ステレオ	1/4" jack		10 Ω	ヘッドフォン出力
映像				
アナログ				
種類	コネクター	レベル	インピーダンス	注記
コンポーネント	5 x BNC	1 Vp-p	75 Ω	RGB + H, V syncs
コンポジット/ コンポーネント	3 x RCA / 1 x RCA	1 Vp-p	75 Ω	再生出力
コンポジット/ コンポーネント	3 x RCA / 1 x RCA	1 Vp-p	75 Ω	録音出力
S-video	2 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	再生出力
S-video	2 x 4 pin mini-DIN	1 Vp-p	75 Ω	録音出力

コントロール・インターフェイス		
アナログ		
種類	ポート名	ピンコネクション
RS232	In	Rx = 3, Tx = 2, Ov = 5
RS232	Out	Rx = 5, Tx = 4, Ov = 2

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Floors Road
Waterfoot
Glasgow G76 0EP
Scotland, UK

Phone: +44 (0)141 307 7777
Fax: +44 (0)141 644 4262
Helpline: 0500 888909
Email: helpline@linn.co.uk
Website: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

Phone: +1 (904) 645 5242
Fax: +1 (904) 645 7275
Helpline: 888-671-LINN
Email: helpline@linninc.com
Website: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Albert-Einstein-Ring 19
22761 Hamburg
Deutschland

Phone: +49-(0) 40-890 660-0
Fax: +49-(0) 40-890 660-29
Email: info@linngmbh.de
Website: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田 6-1-4
神田ノーザンビル 4F

TEL: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Website: www.linn.jp

